

(1) 活動内容

○ 第2学年 単元名 Lesson6 The 3Rs in Germany and Japan 5時間／8時間

○ 本時の目標 「相手に理由を聞いてみよう！」

「聞く」、「話す」を中心に、Why ～? と Because ～. の文を Lesson5 で学習した to 不定詞を使いながら練習し、身に付けられるようにする。また、クラスの友達とアクティビティーを行うことで、コミュニケーション能力の向上を図る。

○ 具体的活動内容

1 導入	<p>「あなたは夏が好きですか？」など、既習事項の疑問文を口答で質問し、英語にしてもらおう。(今までは、好きか嫌いかまでしか相手に聞くことができなかったことに気づかせる。)</p> <p>その後、相手に理由を尋ねたり、答えたりするためには、Why ～? Because ～. を使って聞くことができることを教える。</p>
	<p>パワーポイントで Why ～? Because ～. の例文を、全体で口答練習をする。(Why do you want to go there? / Because I want to swim. など)</p>
2 展開	<p>資料のワークシートを生徒に配布し、上の会話例の下線部に、生徒自身が実際に行きたい場所、行きたい理由を生徒に書かせる。</p> <p>その後、生徒は自由に歩き回りながらペアを捜して、ペアの友達が行きたい場所、行きたい理由を聞く。</p> <p>ジャンケン → 勝者が A になり、質問をする → 下の表に相手のペアの相手の名前、相手の行きたい場所、行きたい理由を記入する → 記入後、別れて新しいペアを捜し、3人に聞いた所で席に戻る</p>
3 まとめ	<p>アクティビティーで聞いたことを発表させる。</p> <p>教員が A になり、生徒は質問した3人の中から1人を選んで、ペアの生徒の内容を紹介する。</p> <p>2人目からは内容が紹介された生徒に、リレー形式で同じ質問をし、答えさせるようにする。</p> <p>最後に副教材で問題演習をし、問題に慣れさせる。</p>

(2) 成果・課題

既習内容で作ることのできる疑問文をまず作り、その後文頭に Why を付けるという2段階に分けて教えたことで、生徒は割とすんなり Why を使った疑問文を作ることができていた。

しかし、アクティビティーでは本当に自分が言いたい事よりも、絶対に間違えていない、自信を持って書くことができるような内容にとどまっている生徒が多く見られた。

間違いを恐れず、積極的な態度の育成を1時間1時間の授業を通して育成していきたい。

資料 ワークシート

どこに行きたいか、理由も合わせて友達に聞いてみよう！！

A : Where do you want to go?

B : I want to go to _____.

A : Why do you want to go there?

B : Because I want to _____.

Name	Place	Reason